

平成29年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算がまとまりました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている市政。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのかを、お知らせします。

※計数は、それぞれ四捨五入にしているため、合計や差引が合わない場合があります。

※18ページの「市民からのメッセージ」の対象です。

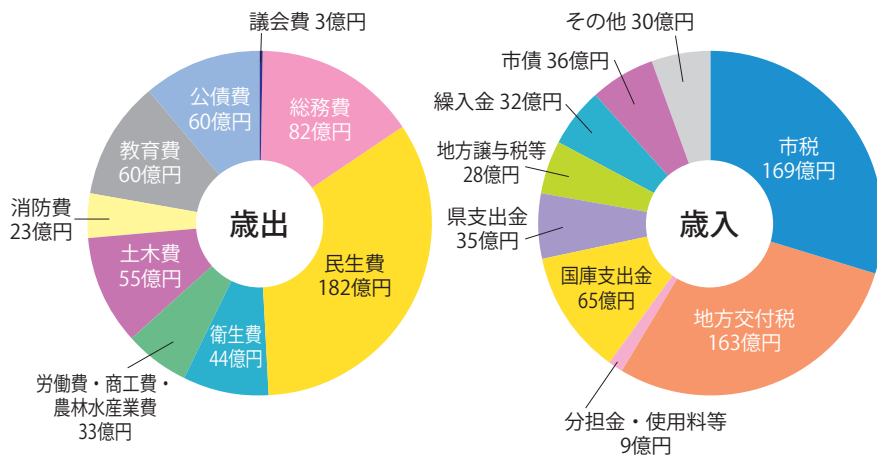
問 財政課（☎65-65006）

※（ ）内の金額は、前年度との比較

一般会計

歳出総額
542億2,442万円
対前年度比
7億76万円増

歳入総額
566億278万円
対前年度比
14億1,625万円増



市税
168億5,609万円 (3,870万円増)
皆さんが納めた市民税、固定資産税、軽自動車税など

県支出金
35億554万円 (4億7,976万円減)
県からの補助金

繰入金
31億7,319万円 (23億3,512万円増)
各種基金から繰り入れるお金

総務費
81億5,436万円 (5億3,357万円増)
人権施策、庁舎管理、交通対策、防犯対策、自治振興など

土木費
55億1,408万円 (7億788万円減)
道路、公園、公営住宅等の整備や除雪など

災害復旧費
1億243万円 (1億243万円増)
台風等の災害を受けた箇所への復旧経費

地方交付税
162億6,239万円 (4億336万円減)
地域で生活に違いが出ないよう、人口や税収に応じて国から配られるお金

市債
35億5,040万円 (10億4,910万円増)
市が必要な事業をするために国や金融機関などから借りのお金

分担金・使用料等
9億2,963万円 (2,423万円増)
保育所や幼稚園の保育料、市営住宅家賃など

民生費
181億8,804万円 (3億662万円増)
児童、高齢者、しょうがい者の福祉推進など

消防費
22億7,043万円 (3億2,564万円増)
消防・救急活動、水防や災害対策、原子力対策など

公債費
60億1,772万円 (9,135万円減)
これまでの施設整備などのために借ったお金(市債)の返済

国庫支出金
65億2,932万円 (5億1,468万円減)
国からの補助金

地方譲与税等
28億714万円 (1億7,867万円増)
国や県が集めた税金のうち、市町村に配られるお金

その他
29億8,908万円 (8億1,177万円減)
諸収入、寄付金、財産収入、繰越金

衛生費
44億1,803万円 (2億6,104万円減)
予防接種、母子保健、健康増進やこみ、し尿の処理など

教育費
59億8,639万円 (1億1,795万円増)
学校の管理・運営や施設整備、生涯学習の推進や文化財の保護など

労働費・商工費・農林水産業費
33億1,666万円 (3億7,778万円増)
勤労者の福祉、商業・観光、農林水産業の振興など

特別会計

区分	歳入	歳出	差引	特徴
国民健康保険	141億1,640万円	135億3,959万円	5億7,681万円	一人当たりの医療費は増え続けているものの、医療費全体の伸びが鈍化したため、保険料率を据え置きました。引き続き安定的な運営に努めます。
国民健康保険(直診勘定)	2億8,054万円	2億7,372万円	682万円	診療所運営は厳しく、一般会計からの繰入で対応する状態が続いています。赤字が続くと予想されるため、より効率的な運営に努めます。
後期高齢者医療保険	13億3,096万円	13億3,048万円	48万円	保険料率は、運営主体である滋賀県後期高齢者医療広域連合が2年に1度見直し、平成28年に引き上げられています。年々被保険者が増加する中、今後もていねいな説明に努めます。
介護保険	114億4,354万円	111億2,886万円	3億1,469万円	高齢者人口が増加するなか、介護保険の適正な運用や「地域包括ケアシステム」を進めるための取組を行いました。
休日急患診療所	4,686万円	3,769万円	918万円	湖北医師会の協力のもと、内科及び小児科の初期救急医療を実施しました。休日急患診療所の利用者割合は52.05%と年々増加しており、病院の救急医療の負担の軽減を図りました。
公共下水道	55億4,479万円	50億7,536万円	4億6,943万円	使用料で管理費の全額と資本費の一部を回収できている状況です。経営の明確化および改善を図るため、平成30年4月から公営企業会計を導入しています。
農業集落排水	13億6,135万円	13億5,828万円	308万円	単独処理のため、汚水処理費が割高となり、使用料で管理費の全額が回収できていません。公共下水道への統合を進め、経営の改善に努めます。

企業会計

病院事業			
長浜病院		湖北病院	
収益的収入	収益的支出	収益的収入	収益的支出
125億9,822万円	136億5,184万円	26億3,727万円	27億6,527万円
純損益 △10億5,362万円 (経常損益 △10億5,362万円)		純損益 △1億2,801万円 (経常損益 △1億2,801万円)	
医師不足や、機器・設備の更新に伴う減価償却費など、医療機関を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。今後も「地域住民の健康保持に必要な医療の提供」という基本的使命を果たすため、診療体制の充実を図ります。			

老人保健施設事業	
収益的収入	収益的支出
4億3,193万円	4億4,214万円
純損益 1,021万円 (経常損益 1,027万円)	
在宅復帰支援に努めました。今後も介護ニーズに応えるべく、湖北病院と連携を図り、適切な介護サービスを提供していきます。	

市の会計

- 一般会計 福祉、教育、道路整備など、市の基本となる事業を行うための会計
- 特別会計 国民健康保険、介護保険のように対象となる人が限られる会計
- 企業会計 病院や介護施設など、民間企業と同じように利用料をもらいその利益で運営している会計